

第3回エコ印刷大賞<環境報告書・CSRレポート2009>

2010年5月26日

エコ印刷研究会 エコ印刷大賞選考委員会

環境報告書・CSRレポートは、企業の環境への取り組みを公表し、ステークホルダーとのコミュニケーションを行う媒体として活用されており、現在1100社※を超える企業・事業所で発行されています。

今後の環境報告書・CSRレポートの課題は、コミュニケーションのレベルアップ、印刷物としての環境配慮のあり方、印刷物全般への展開などがあります。

エコ印刷研究会では、印刷物の環境配慮に着目し研究を進めてまいりましたが、その成果として2008年4月「エコ印刷大賞」を制定し、「エコ印刷大賞<環境報告書・CSRレポート2007>」を決定いたしました。この度、昨年、一昨年に引き続き、環境報告書・CSRレポート2009年度版216点を審査し、「エコ印刷大賞<環境報告書・CSRレポート2009>」として大賞3点、優秀賞3点、継続優秀賞4点を決定いたしました。

※環境省「平成20年度環境にやさしい企業行動調査結果」(2009年12月)より

第3回エコ印刷大賞<環境報告書・CSRレポート2009>

- | | |
|-----------|--|
| 大賞 | あいおい損害保険株式会社「あいおい損保の社会的責任 CSRレポート 2009」
東武鉄道株式会社「2009社会環境報告書」
前田建設工業株式会社「CSR報告書2009」 |
| 優秀賞 | 株式会社熊谷組「熊谷組グループCSR報告書2009」
株式会社サークルKサンクス「社会環境報告書2009」
株式会社ファミリーマート「社会・環境報告書2009」 |
| 継続優秀賞 | NTTコミュニケーションズ株式会社「NTTコミュニケーションズグループCSR報告書2009」
株式会社竹中工務店「竹中esレポート2009」
日本電信電話株式会社「NTTグループCSR報告書2009」
日本特殊陶業株式会社「日本特殊陶業グループ環境社会報告書2009」 |
| 選考
表彰式 | エコ印刷研究会 エコ印刷大賞選考委員会
2010年5月26日(水) 13時30分～14時30分
環境パートナーシップオフィス EPO会議室 (渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山B2F)
詳細は右記を参照ください。 http://eco-ken.com/eco/seminar/seminar5/ |

(50音順)

※継続優秀賞:第2回エコ印刷大賞<環境報告書・CSRレポート2008>受賞企業の発行する2009年度版報告書で、優秀賞に順ずる優秀なもので、継続的な改善を行っているもの

問い合わせ先

エコ印刷研究会事務局(担当:野地)

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-21-6-401 コムデザイン株式会社内

TEL 03-3264-6786 FAX 03-3264-6787

e-mail info@eco-ken.com URL <http://www.eco-ken.com/>

目的

本表彰制度は、下記の3点を目的として、制定した。

- ・ 環境報告書・CSRレポートのエコ印刷度向上
- ・ 2010年度環境報告書・CSRレポートのベンチマーク資料としての活用
- ・ 印刷物全般へのエコ印刷の普及促進

選考方法

選考対象

「エコほっとライン」等の環境報告書頒布サービスや各社ホームページの資料請求等を通じ印刷物として入手可能で、エコ印刷研究会「環境報告書・CSRレポート印刷仕様調査」(2009年4月～2010年3月実施)において調査を行った216点。

選考委員

- ・ 寺田 勝昭 (P&Eマネジメント代表)
- ・ 西原 弘 (有限会社サステイナブル・デザイン研究所 取締役社長)
- ・ 奥山 淳 (エコ印刷研究会事務局)

※ 選考委員プロフィールは、資料2を参照ください。

選考の経緯

2010年4月15日(木)13時より、エコ印刷研究会事務局(東京都千代田区三崎町2-21-6-401)において、選考委員3名出席のもと、選考会を開催した。

選考の原則

環境配慮の取り組みが外形および環境表示から分かること。

表1 選考の原則(2009年度版)

評価項目	評価の原則
森林問題(用紙)	森林問題に配慮したパルプの配合率が高い用紙を使用していること 第三者機関等により配慮内容が確認されている用紙を使用していること
大気汚染(VOC※)	VOC排出抑制に配慮した印刷インキを使用していること 印刷機器洗浄時のVOC排出抑制に配慮した印刷インキを使用していること VOC排出抑制型の印刷方法を採用していること
リサイクルの取組	印刷物使用後の古紙リサイクル・資源循環に配慮していること 古紙パルプ配合率が高い用紙を使用していること
地球温暖化対策	温室効果ガス・CO ₂ の「見える化」、削減努力、代替手段による相殺(オフセット)など、温暖化対策に取り組んでいること
印刷事業者	グリーンプリンティング、ISO14001、エコアクション21等の環境マネジメントシステム認証事業者により製造されていること
環境コミュニケーション	環境ラベル・説明文表示を通じ、積極的な環境コミュニケーションを行っていること

※VOC:揮発性有機化合物

一次選考

一次選考では、エコ印刷度算出基準(表2)に基づき、エコ印刷度40点以上の報告書を選考した。

表2 エコ印刷度算出基準(2009年度版)

森林問題(用紙) ※1 配点:25点	
(25点)	古紙パルプ配合率100%再生紙 または 古紙パルプ70%以上を含む森林認証紙
(15点)	古紙パルプ配合率70%以上再生紙 または 森林認証紙
(5点)	再生紙(古紙パルプ配合率70%未満または不明) または 非木材紙 または 間伐材紙
大気汚染(VOC) 配点:25点	
(25点)	ノンVOCインキ かつ 水なし印刷 かつ 水洗浄性インキ
(20点)	ノンVOCインキ かつ 水なし印刷
(15点)	大豆油インキ かつ 水なし印刷
(10点)	ノンVOCインキ または 水なし印刷 または クリオネマーク(ゴールドプラスまたはゴールド)
(5点)	大豆油インキ または クリオネマーク(シルバー)
リサイクルの取組 配点:15点	
(15点)	(古紙再生適性2スターマーク かつ 古紙パルプ配合率70%以上再生紙使用) または (リサイクル適性◎A かつ 古紙パルプ配合率70%以上再生紙使用) または (「紙へリサイクル可」表示 かつ 古紙パルプ配合率70%以上再生紙使用)
(9点)	古紙再生適性2スターマーク または リサイクル適性◎A または 「紙へリサイクル可」表示
(3点)	古紙再生適性1スターマーク または リサイクル適性○B または 「板紙へリサイクル可」表示
地球温暖化対策 配点:15点	
(15点)	カーボンフットプリント表示 ※2 かつ CO ₂ 排出量改善度の表示 ※3 かつ (カーボンオフセット または グリーン電力証書)
(12点)	カーボンフットプリント表示 ※2 かつ (カーボンオフセット または グリーン電力証書)
(9点)	カーボンフットプリント表示 ※2
(3点)	カーボンオフセット または グリーン電力証書
印刷事業者 配点:15点	
(15点)	グリーンプリンティング(GP)認定工場
(9点)	ISO14001認定事業者 または エコアクション21認定事業者
環境コミュニケーション 配点:5点	
(5点)	グリーンプリンティング(GP)マーク表示 または エコマーク(紙製の印刷物)表示 ※何らかの説明文表示があるものに限る
(3点)	用紙・インキ・製法それぞれについての環境ラベル表示 ※何らかの説明文表示があるものに限る
(1点)	用紙およびインキについての環境ラベル表示 ※何らかの説明文表示があるものに限る
計100点	

※1 複数の用紙を使用している場合は、主たる用紙について評価した

(例: 表紙・本文それぞれの表示があった場合は本文について)

※2 印刷会社等による自主的な算出によるCO₂排出量表示を含む

※3 前年度報告書や同種の印刷物のCO₂排出量との比較等による検証可能な改善度の表示

二次選考

二次選考では、一次選考結果、選考の原則(表1)および二次選考基準(表3)に基づき、選考委員による審査の上、大賞、優秀賞、継続優秀賞を選考した。

大賞は、エコ印刷度70点以上であり、かつ他と比べて最も優秀であり、我が国のエコ印刷と模範となるものとした。

優秀賞は、大賞に順ずる優秀なものとした。

継続優秀賞は、「第2回エコ印刷大賞<環境報告書・CSRレポート2008>」受賞企業の発行する2009年度版報告書で、大賞・優秀賞に順ずる優秀なもので、継続的な改善を行っているものとした。

表3 二次選考基準(2009年度版)

評価項目	評価の原則
環境表示	適切な環境表示を行っていること ※ エコ印刷研究会「印刷物の環境表示原則 ver2」(資料4)に基づき判断する
省資源 省エネルギー	過度に厚い用紙を使用していないこと 変形サイズを用いていないこと 特別な加工を行っていないこと
梱包・配送	報告書の配送方法に配慮していること
リサイクルの取組	古紙リサイクルを阻害する加工を行っていないこと
社会貢献活動	ユニバーサルデザイン等に配慮していること

総評

全体の分析

今回選考を行った報告書の分析結果は図1および表4の通りとなる。
216社の平均エコ印刷度は26.9点となり、最も多いエコ印刷度(最頻値)は、38点となった。

図1 エコ印刷度の分布

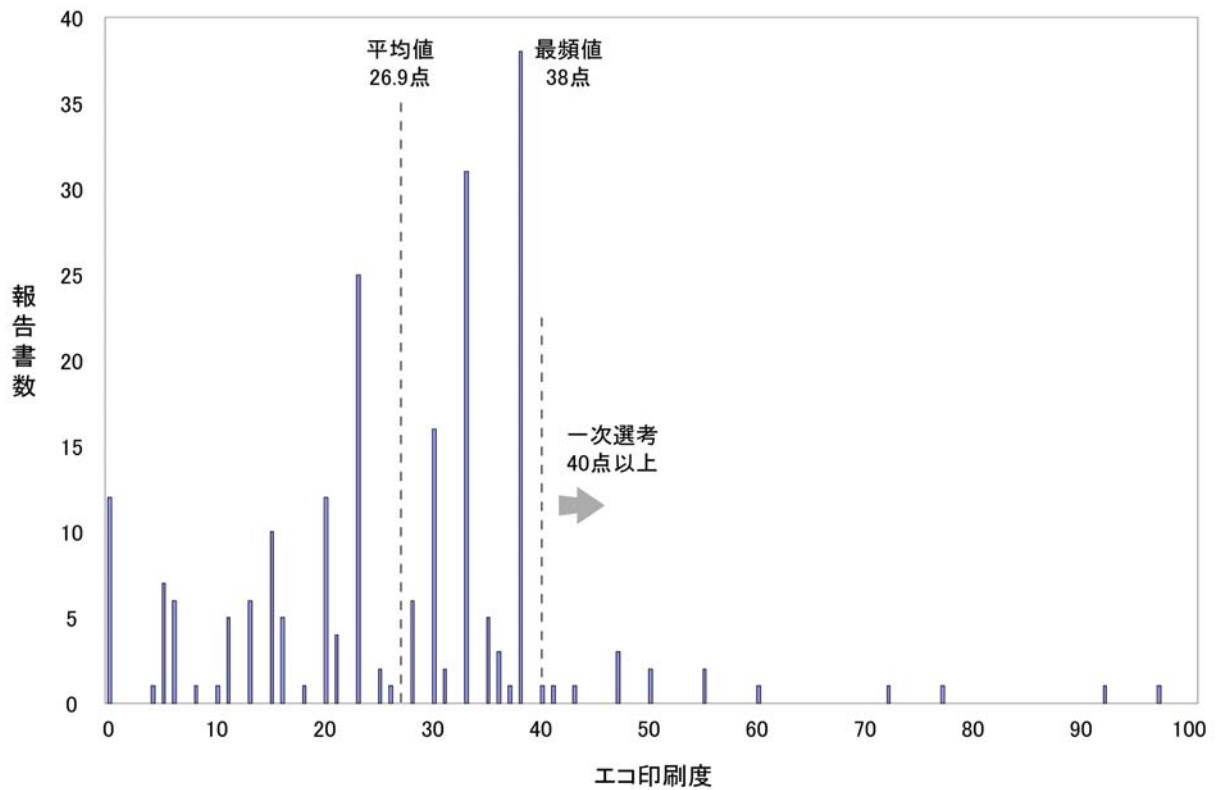


表4 エコ印刷度の分析

	森林問題 (用紙)	大気汚染 (VOC)	リサイクルの 取組	地球温暖化 対策	印刷事業者	環境コミュニ ケーション
満点	25	25	15	15	15	5
全体 ※216点の平均値	12.0	11.4	0.46	0.46	0.57	2.00
優秀賞・継続優秀賞 ※7点の平均値	15.0	20.7	2.57	3.43	5.57	3.57
大賞 ※3点の平均値	21.7	23.3	13.0	6.00	13.0	5.00

全体の状況を見ると、森林問題(用紙)、大気汚染(VOC)は、平均10点以上となっているが、その他の項目はほとんど1点以下であり、取り組みの落差が目立つ。

これは、エコ印刷度の分布にも表れており、森林認証紙(15点)、ノンVOCインキかつ水なし印刷(20点)を採用し、それぞれ環境表示を行っているもの(3点)が、合計38点となり、最頻値と一致する。典型的な環境報告書・CSRレポートのエコ印刷仕様といえるが、その他の項目への広がりが見られないことも明確となった。

古紙リサイクル対応、地球温暖化対策等、いずれも重要な課題であり、今後の取り組み推進を期待したい。

大賞、優秀賞、継続優秀賞では、森林問題、大気汚染だけでなく、リサイクルの取組、地球温暖化対策、印刷事業者、環境コミュニケーション、いずれも平均値を大きく上回っている。これらは、用紙、インキ、製法はもちろん、ライフサイクル全般を踏まえた、総合的な環境負荷削減の取り組みを行っている先進的なエコ印刷物といえる。

選評

あいおい損害保険株式会社「あいおい損保の社会的責任 CSRレポート 2009」

持続的な改善を積み重ね、昨年の優秀賞から大賞となった。

W2システムと呼ばれる、水洗浄性インキを使った水なし印刷を採用しており、VOC排出抑制に関して最大限の配慮を行っている。また印刷事業者(グリーンプリンティング)、地球温暖化対策(グリーン電力証書)など多方面での配慮が行われている。

他の大賞2点と異なり、古紙パルプ配合率100%再生紙ではなく、森林認証紙を採用していることが特徴的であった。再生紙については、第三者認証制度がないこと、調達可能性等の問題もあるが、資源循環という観点では重要な取り組みである。

古紙リサイクル識別表示は、「紙へのリサイクルが可能です」とグリーン購入法基本方針に準拠した表示を行っていた。適切な表示ではあるが、認識しやすさという面では環境ラベルが勝っており、古紙再生適性2スターマークやリサイクル適性◎Aの採用が望ましい。

東武鉄道株式会社「2009社会環境報告書」

昨年に引き続いての大賞受賞となった。

選考対象の中で最高点となるエコ印刷度97点であった。満点からのマイナス3点は、地球温暖化対策でのCO₂排出量表示の改善度の表示である。CO₂排出量算定が始まったばかりであることを踏まえると、事実上の満点といえる。

環境表示も大変わかりやすくまとめられている。

水なし印刷とW2システムの説明は、VOC対策という面で一緒に説明を行った方が適切だろう。CO₂排出量表示については、2次元バーコードの活用など情報へのアクセス方法の改善も期待したい。

エコ印刷度に表れない面では、ユニバーサルデザインの取り組みが見られない点が残念だった。環境報告書・CSRレポートにおいても、ユニバーサルデザイン、カラーユニバーサル等への配慮が広がってきている。今後を期待したい。

前田建設工業株式会社「CSR報告書2009」

森林問題、大気汚染、リサイクル、温暖化対策、ユニバーサルデザインなど、多方面での配慮が積み重ねられている。

特に、環境コミュニケーションでは、実施した環境配慮の内容について詳しく説明されている。

今回選考対象の中で唯一エコマーク認定を受けている。

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用し、リサイクル対応型印刷物(◎A)として制作されているなど、古紙リサイクル・資源循環への高い意識がうかがえる。

今後は、W2システム(水洗浄性インキを使った水なし印刷)や、CO₂排出量表示、グリーンプリンティング認定工場での製造など、一層のチャレンジに期待したい。

2010年度に向けて

今回からエコ印刷度の算出基準を大幅に変更した。エコ印刷研究会での研究成果の1つである「エコ印刷チェックシート」(資料5)に基づき、印刷物の環境負荷、取り組み課題を6項目に整理し、それぞれ行っている対策について配点した。

一般に印刷物の環境配慮というと、用紙、インキが主な要素である。しかし、印刷の環境負荷は、製造工程での配慮、古紙リサイクルの取り組み、地球温暖化対策・CO₂排出削減、印刷事業者の取り組みなど幅広い。資材選定はもちろん、製造や流通、廃棄・リサイクルまでライフサイクル全般の配慮が求められている。

こうした環境配慮への関心を高めるとともに、きちんと取り組みを行っているものを評価する観点で算定基準を改定した。

最も進んだエコ印刷が実施されている環境報告書・CSRレポートではあるが、分析結果でも明らかになったように、用紙(森林認証紙)、インキ(ノンVOCインキ)、製法(水なし印刷)の3点セットが最も多く、それ以上の広がりが見られない。

一般の印刷物に比べれば高水準であるのは間違いないが、環境への取り組みは、継続的な改善を繰り返していくことが重要である。社会状況の変化、環境対応技術の進捗などへの対応も欠かせない。環境報告書・CSRレポートは、企業の環境への取り組みを見極める重要な印刷物であるとともに、その成果を社内のその他の印刷物に拡大していくことも大きな役割となっている。今後も一層の取り組みの深化を期待する。

(資料1)

○ エコ印刷研究会（事務局長：奥山 淳）

エコ印刷研究会は、印刷物を企業活動に利用する調達者・購入者の立場で、環境に配慮した、責任ある印刷物「エコ印刷」の研究と普及を目指し、2006年発足しました。

2006年4月より、毎月セミナー・勉強会を開催、調達者・購入者の立場での印刷技術、環境対応についての研究を重ねており、これまでのべ100社以上の皆様にセミナー・勉強会に参加いただいております。

また、市場の印刷物の環境対応状況についての調査も行い、環境報告書・CSRレポートは発足当初より毎年200点以上の調査を継続しています。これまでの研究成果および、実例調査を踏まえ、「環境報告書・CSRレポート エコ印刷大賞」を制定いたしました。

○ エコ印刷研究会の理念

印刷の歴史は、15世紀のグーテンベルクによる活版印刷の発明まで遡ります。情報(コンテンツ)を大量・廉価に複製し、伝達可能な技術は、世界を一変させ、現在の情報化社会の基盤ともなりました。印刷は、人々の生活、企業活動に欠かすことのできないものとなっています。

しかし、世界中で日々大量に使用され、処分される印刷物は、大きな環境負荷を与え続けています。

その1つ1つは小さく、また企業では間接部門に位置付けられるため関心が薄く、環境汚染の要因とされるまでになっているにも関わらず、印刷物の環境配慮は進んでいるとはいええない状況です。

印刷物の環境負荷低減のための効果的なアクションは、印刷物発注者の意識と行動です。

エコ印刷研究会は、印刷物を企業活動に使用する発注者の立場で、「地球と調和した印刷物」を通じて、環境負荷低減、持続的社會に貢献することを目的に、印刷技術の研究や、実態調査、普及活動等を行っています。

(資料2)

選考委員プロフィール

○ 寺田 勝昭

P&Eマネジメント代表 環境スペシャリスト
元共同印刷株式会社 環境管理部長
在任中日本印刷産業連合会グリーン基準や環境優良工場表彰制度の創設に尽力
日本印刷産業連合会、全日本印刷工業組合連合会、東京都印刷工業組合の環境委員会委員
JQA及びコムデザイン株式会社の環境スペシャリスト
水なし印刷研究会顧問 東京都VOC対策アドバイザー
印刷業界の環境スペシャリストとして主導的役割を務める

○ 西原 弘

有限会社サステイナブル・デザイン研究所 取締役社長
10年以上に渡り、「リサイクル対応型印刷物」など古紙リサイクルに関する多数の調査研究に従事
環境社会学、廃棄物管理・リサイクル、環境マネジメント等を専門とする
環境カウンセラー、エコアクション21審査人、サステナビリティ情報審査人補

○ 奥山 淳

エコ印刷研究会 事務局長
コムデザイン株式会社 代表取締役
元通商産業省 紙業印刷業課
退省後、ソフトウェア開発メーカーの経営陣を経て、コムデザイン株式会社を設立
2006年、印刷物利用者・調達者の立場で、環境に配慮した、責任ある印刷物の
研究と普及を目指すエコ印刷研究会を発足

(資料3)

これまでの受賞者

第1回エコ印刷大賞<環境報告書・CSRレポート2007>

大賞	日本電信電話株式会社「NTTグループCSR報告書2007」	
優秀賞	アイカ工業株式会社「社会環境報告書2007」 味の素株式会社「味の素グループ CSRレポート2007」 昭和電工株式会社「CSRレポート2007」 株式会社デイリーヤマザキ「デイリーヤマザキ 社会・環境レポート2007」 株式会社東芝「CSR報告書2007」 東武鉄道株式会社「2007社会環境報告書」 トヨタ自動車株式会社「Sustainability Report 2007」 日本ガイシ株式会社「環境・社会レポート2007」 日立金属株式会社「2007 CSR報告書 日立金属グループ」 株式会社ファミリーマート「ファミリーマート 社会・環境報告書2007」 矢崎総業株式会社「社会環境報告書2007」 ワタミ株式会社「ふれあい報告書2007 ワタミグループCSR報告書」	(50音順)

第2回エコ印刷大賞<環境報告書・CSRレポート2008>

大賞	東武鉄道株式会社「2008社会環境報告書」	
優秀賞	あいおい損害保険株式会社「あいおい損保の社会的責任CSRレポート2008」 NTTコミュニケーションズ株式会社「NTTコミュニケーションズグループCSR報告書2008」 株式会社竹中工務店「竹中esレポート2008」 中外製薬株式会社「社会責任報告書CSR'07」 株式会社椿本チエイン「椿本チエイン 環境・社会報告書 2008」 東京リース株式会社「CSR報告書2008」 日本ハム株式会社「社会・環境レポート2008」 日本特殊陶業株式会社「Environmental & Social Report 2008」 株式会社バンダイナムコホールディングス「バンダイナムコグループ CSR Report 2008」 株式会社ブリヂストン「社会・環境報告書2008」	
継続優秀賞	昭和電工株式会社「CSRレポート2008」 株式会社東芝「CSR報告書2008」 日本ガイシ株式会社「2008環境・社会レポート」 日本電信電話株式会社「NTTグループ CSR報告書2008」 矢崎総業株式会社「社会環境報告書2008」	(50音順)

エコ印刷研究会「印刷物の環境表示原則」(ver2)

<環境表示5原則>

① 印刷物には環境表示を行う

- ・ 積極的に情報公開し、環境コミュニケーションを行う

② 印刷物利用者の視点に立ち客観的でわかりやすい表示を行う

- ・ 一方的な自己主張ではなく、求められる情報、コミュニケーションとなるよう配慮する
- ・ 文字の大きさ、色、読みやすさに配慮する

③ どのような環境配慮を行ったのかを明らかにする

- ・ 印刷物の環境表示＝環境配慮仕様表示(資材・製法等)＋古紙リサイクル案内・識別表示
- ・ 環境配慮のポイント＝森林問題、大気汚染、リサイクル、地球温暖化…
- ・ 古紙パルプ配合率など具体的など数字情報を示す

④ ライフサイクル全般を踏まえた環境主張を行う

- ・ 一部をもって全体が環境に優位であると誤認される表示は行わない
- ・ 1つの環境影響を減少させる過程で、他の環境影響を増大させる可能性(トレードオフ)に配慮する
 - パルプの漂白工程のみをもって環境配慮型用紙を主張しない
 - 部分的なリサイクル対応のみを主張しない(印刷物全体のリサイクル識別表示を行う)

⑤ 表示内容の担保・トレーサビリティを確保し、責任を持つ

- ・ 印刷会社等から資材・製法等の証明書を受け取り、管理する
- ・ カーボンフットプリント・カーボンオフセット等は算定根拠等を合わせて表示する
 - 掲載スペースに限りのある場合はホームページURLを表示する

<わかりやすい表示のために>

A 環境ラベルに隣接して説明文を表示する

- ・ 説明文の規定のないラベル・マークでも文章で説明を加える

B 多数のラベルを併記する際は、わかりやすく誤解を与えないよう配慮する

- ・ できるだけ総合ラベル(GPマーク・エコマーク)を使用する
- ・ 1つの環境主張に複数のマーク表示を行わない
 - 用紙: 森林保全主張に、再生紙使用マーク、非木材マーク等を並べない
 - インキ: VOC排出抑制主張に、ソイシール、ノンVOCインキマークを並べない

C 抽象的・あいまいな表現や誤解を与えかねない表示は行わない

- ・ 「環境にやさしい～」「エコ～」「環境対応型～」といった表現は単独で使用しない
 - 「環境にやさしい大豆油インキを使用しました」等は不適當 具体的に説明を行う
- ・ 環境対応資材・製法等の進捗・普及状況等を踏まえ、過剰に環境優位を印象付けることがないよう配慮する

D 専門用語、固有名詞、造語等はできる限り避ける

- ・ 不可避の場合には、説明を加える

E 印刷物の環境表示とその他の環境表示等を混同して表示しない

- ・ 掲載内容(製品・サービス)の環境情報、発行企業の社会貢献表示等とわかりやすく区別して表示する

エコ印刷チェックシート ver1.05

印刷発注者の取り組み
<input type="checkbox"/> 印刷物の必要性・有効部数の検討 <input type="checkbox"/> 変形サイズ・特色の不使用 <input type="checkbox"/> デジタル化対応(原稿・校正紙等物のやりとりの電子化) <input type="checkbox"/> 梱包資材へのリユース・リサイクル品、リサイクル対応品の指定

印刷物の環境への取り組み対象とそれに対応する資材・製法等の対応表です。
 右記「印刷発注者の取り組み」を行った上、
 各項目それぞれ1点以上、できれば☆の多いものの中から選んでください。

一般的な印刷物(広告宣伝用チラシ・商品パンフレット・業務用印刷物等)を対象としています。
 ※美術印刷・長期保存等を目的とする印刷物は対象外となります。

	☆☆☆(3スター)	☆☆(2スター)	☆(1スター)	確認事項
森林問題(用紙)	<input type="checkbox"/> 古紙パルプ配合率100%再生紙 <input type="checkbox"/> 古紙パルプ70%以上を含む 森林認証紙	<input type="checkbox"/> 古紙パルプ配合率70%以上再生紙 <input type="checkbox"/> 森林認証紙	<input type="checkbox"/> 再生紙(古紙パルプ配合率70%未満) <input type="checkbox"/> 非木材紙 <input type="checkbox"/> 間伐材紙	<input type="checkbox"/> 非塗工紙:白色度が高くないこと <input type="checkbox"/> 塗工紙:塗工量が多すぎないこと <input type="checkbox"/> 有害物質(アミン)の不使用
大気汚染(VOC)	<input type="checkbox"/> ノンVOCインキ/リサイクル対応型UVインキ +水なし印刷 +水洗浄性インキ	<input type="checkbox"/> ノンVOCインキ/リサイクル対応型UVインキ <input type="checkbox"/> 水なし印刷 <input type="checkbox"/> クリオネ(ゴールドプラス・ゴールド)	<input type="checkbox"/> 大豆油インキ/植物油インキ <input type="checkbox"/> クリオネ(シルバー)	<input type="checkbox"/> インキ:新NL規制・PRTR対応 <input type="checkbox"/> 表面加工:石油系溶剤を含まないこと
リサイクルの取組	<input type="checkbox"/> リサイクル適性ランクリスト「A」適合品 +古紙パルプ配合率70%以上再生紙 ※用紙・インキ・表面加工・製本資材等全ての資材の古紙リサイクル適性が「A」であること	<input type="checkbox"/> リサイクル適性ランクリスト「A」適合品 ※用紙・インキ・表面加工・製本資材等全ての資材の古紙リサイクル適性が「A」であること	<input type="checkbox"/> リサイクル適性ランクリスト「B」適合品 ※用紙・インキ・表面加工・製本資材等全ての資材の古紙リサイクル適性が「A」または「B」であること	
地球温暖化対策(今後の検討課題)	<input type="checkbox"/> カーボンフットプリント ※排出量表示 +CO2排出量改善度の表示	<input type="checkbox"/> カーボンフットプリント ※排出量表示	<input type="checkbox"/> カーボンオフセット ※排出権購入 <input type="checkbox"/> グリーン電力証書	
印刷事業者	<input type="checkbox"/> グリーンプリンティング(GP)認定工場	<input type="checkbox"/> ISO14001認証事業者 <input type="checkbox"/> エコアクション21認証事業者	<input type="checkbox"/> 自主的な取り組み ※「エコアップ」(埼玉県)など地方自治体等の取り組みに参加し、環境方針・組織を設け持続的に環境保全活動に取り組んでいること <input type="checkbox"/> エコ印刷プランナー認定	<input type="checkbox"/> 外部製造委託会社の選定 <input type="checkbox"/> 環境報告書等での環境情報公開
環境 コミュニケーション	<input type="checkbox"/> グリーンプリンティング(GP)マーク +古紙リサイクル案内 ※古紙リサイクル案内には識別表示を含むこと <input type="checkbox"/> エコマーク(紙製の印刷物)	<input type="checkbox"/> 環境ラベル及び説明文 +古紙リサイクル案内 ※古紙リサイクル案内には識別表示を含むこと ※印刷物個別の環境配慮以外の社会的貢献的ラベル(チームマインナス6%等)を除く	<input type="checkbox"/> 環境ラベル及び説明文 <input type="checkbox"/> 古紙リサイクル案内 ※古紙リサイクル案内には識別表示を含むこと	<input type="checkbox"/> 環境省「環境表示ガイドライン」準拠 <input type="checkbox"/> エコ印刷研究会「印刷物の環境表示原則」参照

参考情報

グリーンプリンティング認定制度	日本印刷産業連合会の定めた印刷業向け環境マネジメントシステム http://www.jpfi.or.jp/greenprinting/
古紙リサイクル適性ランクリスト	印刷物に使用される資材の古紙リサイクル適性をA~Dの4段階にまとめたもの(日本印刷産業連合会) http://www.jpfi.or.jp/recycle/print_recycle/data.html